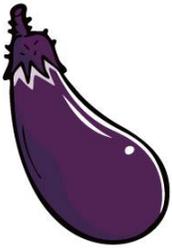


献立ひとくちメモ

7月27日(月)



ナスのお話です。

原産地はインドで、中国を経て日本に伝わりました。古くから親しまれていて、奈良時代では既にナスを食べており、平安時代の漢和辞典『倭名類聚抄(わみょうるいじゆしょう)』に「奈須比(なすび)」と記載されています。そして室町時代に入ると、京都府や奈良県でナスが特産品として作られるようになり、江戸時代になると全国各地で生産されるようになりました。ナスはもともと熱帯性の植物でしたが、品種改良を経て現在では寒い地域である北海道でも作られています。そのため、各地域で大きさや形等が違い、日本でも約180種、世界では約1000種以上あるといわれています。